

滝のある小さな和庭の制作

テーマ：玄関脇の傾斜空きスペースにミニ龍門瀑のある和庭の制作

《 その3 歩路 完成写真 》

1. 歩路の施工

歩路については滝見台の施工と並行しての施工でもあり、既に写真にも登場しているが説明を付け加えます。

アプローチから滝見台まではかなりの高低差があります。1段目の蹴上は既設の植樹ブロック積とアプローチの高低差が最少である余水の排水路を利用することになりました。2段目の蹴上は滝見台とアプローチの距離が短いため横に上がることになります。上からこの段へ降りるときの恐怖感を和らげるため踏み面を大きく確保するため 300*600 の延べ石を2枚並べて敷きました。延べ石の下は棒状の角石を置き高さの調整をしています。



階段 1, 2 段目



階段 3, 4 段目と蹲踞前石



飛石 1 段目の台石

次の段からは飛石階段として2段の飛石を配し、滝見台へ上がります。なお滝見台の上にも1枚の飛び石を据え、後述する蹲踞の前石とします。飛び石の1段目は高さの調整のため下に台石(3枚の割石を組み合わせたもの)を施こし、その上に据え付けます。台石の基礎はコンクリートで固めています。2段目の飛石は中段の土留め石の上に据え付けます。

歩路としての踏み石は全て大和サビ御影を使用して、調和を図っています。

2. 完成写真

2-1 全景



門扉からアプローチに入った場所から見た龍門瀑全景



全体俯瞰写真(写真ではの滝見台に休憩用の仮ベンチを設置している。)



滝見台側から見た全景

2-2 滝部分



龍門瀑3段の滝



龍門瀑の下方から



3段目の滝と鯉魚石



龍門瀑滝口



二匹の鯉魚石を配した場合

鯉魚石は移動可能なので、配置はある程度自由にできます。

2-3 その他の添景

石梁



添景 石梁

蹲踞



筧と蹲踞

蹲踞と前石の間には海を設けていません。水は循環水でなく、実際に手洗いに使えるよう水道水を使用しています。

2-4 水の循環設備



ポンプ室内部

水を循環させるための設備です。ポンプは市販の濁水用水中ポンプを使用しています。水量の調整はバルブ操作により、洋風庭園噴水とのバランスで行います。



水循環設備

貯水槽とポンプ室の間にはフィルターを設け、水の汚れを取り除いています。また、水量が減るとフロート弁により自動給水されます。



山門風分電盤カバー（内部に分電盤がある）

ポンプは別の場所に設置した配電盤に設置したタイマーにより、セットした時間に自動運転されます。

分電盤は見苦しくないように山門風のカバーを作成して覆っています。

配管・配線は全埋設とせず、メンテナンスの必要な場所はトラフ内に収納しています。



（左）配管トラフ内の配管・配線、（右）配管トラフに蓋をした状態

元のページへ戻るにはブラウザの[戻る]ボタンをご使用ください。